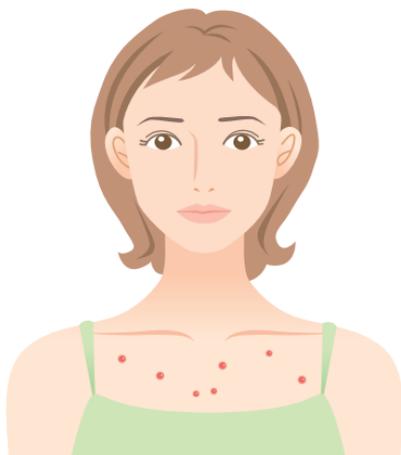


ほくろのような赤いポツポツが気になります

老人性血管腫は色素レーザーで治療できます

中野皮膚科クリニック

<http://www.nakano-derma.com/>



胸や腕などに赤く少し盛り上がったほくろのようなものはいくつかできることがあります。これは「老人性血管腫(けつつかんじんじゆ)」と呼ばれるものです。この疾患については、日本皮膚科学会認定皮膚科専門医、中野皮膚科クリニック院長の松尾光馬さんに話を聞きました。

「老人性血管腫は1〜3mm程度の赤いほくろのような盛り上がりです。胸や背中、おなかや腕にポツポツとした赤いほくろのような状態が現れます。その表面は少し盛り上がっているのが特徴です。加齢とともに発症する割合が増加するので老人性と言われますが、実際は10代からでも発症し、40・50代の7〜8割にみられます。異常な毛細血管の増殖により生じますが、はっきりした原因はなく、体質によるものが多いと考えられています」

「治療法を教えてください」

「老人性血管腫は痛みやかゆみもなく、重篤な症状になることはありません。通常は1mm程度の大きさですが、放っておくと3〜4mmになることもあります。」

「見た目が気になるという人には、色素レーザーで治療します。自由診療で当院の場合は、1個2160円です。大きさによって1回の治療で取りきれないこともあります。まずは、医師に相談しましょう」

中野皮膚科クリニック
(マルニビル5階)



問い合わせ

中野皮膚科クリニック

中野区中野2-30-3、マルニビル5階。中野駅南口徒歩2分

☎03-5342-0722

診療受付時間	月	火	水	木	金	土
9:30 ~ 13:00	○	○	○	○	○	○
15:00 ~ 18:30	○	○	○	○	○	—

休診日:日曜、祝日

院長:松尾光馬 日本皮膚科学会皮膚科専門医、医学博士。東京慈恵会医科大学医学部卒業、同大附属病院皮膚科非常勤講師

2017年3月18日付 「リビング東京副都心」に掲載されました

「老人性血管腫」は胸や首に1〜3mm程度の赤いほくろのような盛り上がりです。